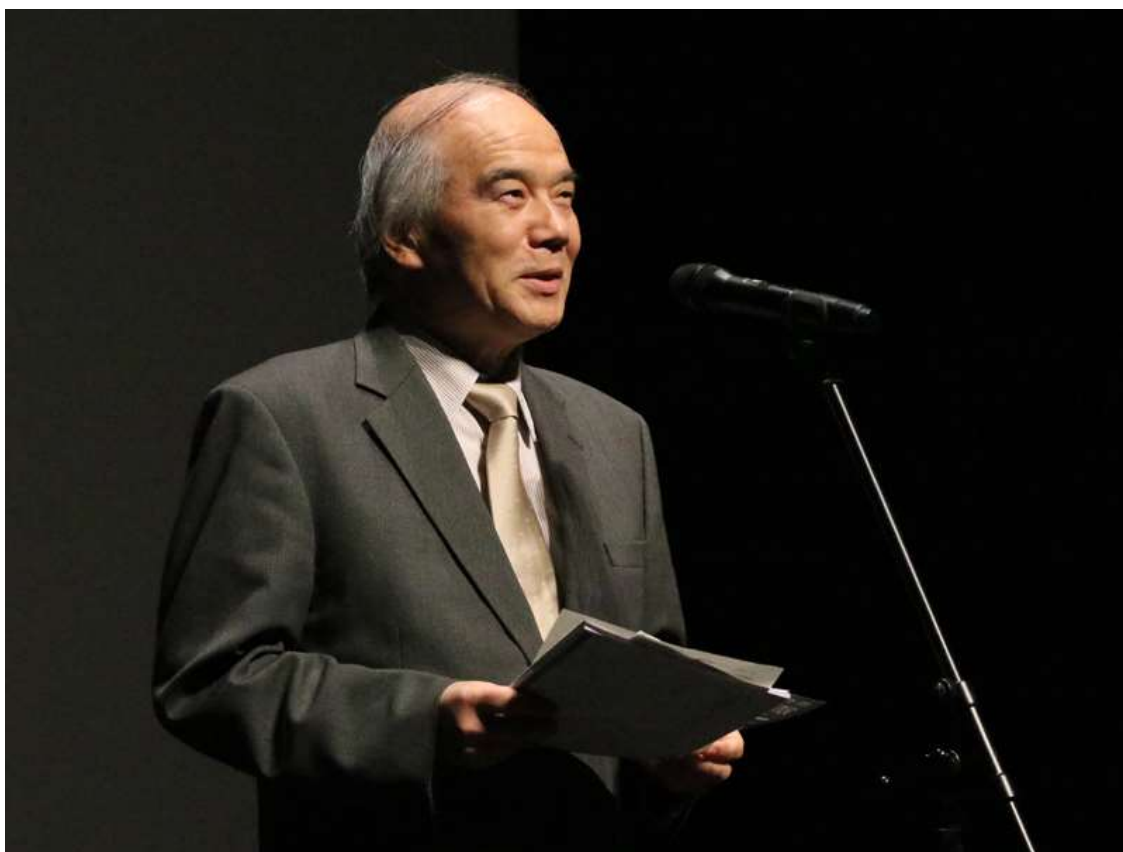


平成 28 年度安全安心地域共創リサーチセンター防災シンポジウム

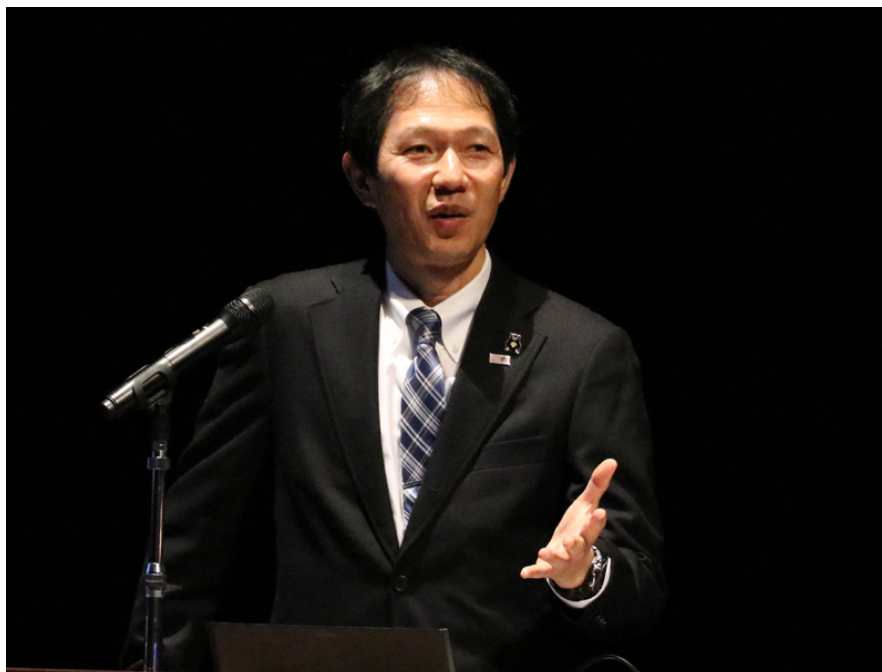
「熊本地震から学ぶ震災後の復興 -生活レジリエンスと事業レジリエンス-」

2016 年 12 月 6 日（火）に、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホールにて、安全安心地域共創リサーチセンターが主催する防災シンポジウム「熊本地震から学ぶ震災後の復興 -生活レジリエンスと事業レジリエンス-」が行われ、239 名が参加しました。



大西 隆（豊橋技術科学大学長）

シンポジウムでは震災後の復興をテーマとし、「生活レジリエンス」として避難所運営や生活再建などについて帯山西小学校長・森江一史氏、「事業レジリエンス」として企業活動の継続などについて東北大学災害科学国際研究所 教授・丸谷浩明氏による基調講演がありました。



基調講演（生活レジリエンス）

「日本一幸せな避難所づくり」を目指して～熊本地震を経験して学んだこと～

森江一史氏（熊本市帯山西小学校長）



基調講演（事業レジリエンス）

企業・組織の事業継続と社会のレジリエンス～災害、危機事象を乗り越えられる会社のために～

丸谷浩明氏（東北大学災害科学国際研究所 教授）

また、本学教員による熊本地震調査報告が合わせて行われました。



熊本地震にみる避難所生活の特徴
勝野幸司（豊橋技術科学大学 准教授）



熊本地震を教訓とした東三河の地域連携
名執 潔（豊橋技術科学大学 特任教授）

さらに、講演を踏まえて、東三河の防災を考えるパネルディスカッションが行われ、コーディネーターとして安全安心地域共創リサーチセンター長・齋藤大樹（豊橋技術科学大学 教授）が、パネリストとして先の講演者に加え、古海盛昭氏（㈱デンソー豊橋製作所 所長）、河合孝始氏（豊橋市防災危機管理課 課長補佐）が登壇し、議論を交わしました。



平成 28 年度安全安心地域共創リサーチセンター防災シンポジウム

「熊本地震から学ぶ震災後の復興 -生活レジリエンスと事業レジリエンス-」

日時：2016 年 12 月 6 日（火） 13：00～17：00

会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール（豊橋市西小田原町 123 番地）

定員：500 名／参加費：無料（事前申込制）

13:00～ 開会挨拶 大西 隆（豊橋技術科学大学長）

13:10～ 基調講演（生活レジリエンス）

「日本一幸せな避難所づくり」を目指して～熊本地震を経験して学んだこと～
森江一史（熊本市帯山西小学校長）

14:10～ 熊本地震にみる避難所生活の特徴

勝野幸司（豊橋技術科学大学 准教授）

14:40～ 基調講演（事業レジリエンス）

企業・組織の事業継続と社会のレジリエンス～災害、危機事象を乗り越えられる会社のために～
丸谷浩明（東北大学災害科学国際研究所 教授）

15:40～ 熊本地震を教訓とした東三河の地域連携

名執 潔（豊橋技術科学大学 特任教授）

16:10～ パネルディスカッション

＜コーディネーター＞

齋藤大樹（豊橋技術科学大学 教授）

＜パネリスト＞

森江一史（熊本市帯山西小学校長）

勝野幸司（豊橋技術科学大学 准教授）

丸谷浩明（東北大学災害科学国際研究所 教授）

名執潔（豊橋技術科学大学 特任教授）

古海盛昭（㈱デンソー豊橋製作所 所長）

河合孝始（豊橋市防災危機管理課 課長補佐）

17:00～ 閉会挨拶

司会：穂苅耕介（豊橋技術科学大学 特任助教）